

| | | | | | |
|---|--|-------------------------------------|------------------------------|------|----------|
| 豊田工業高等専門学校 | | 開講年度 | 平成31年度 (2019年度) | 授業科目 | 保健体育 I B |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 01233 | 科目区分 | 一般 / 必修, 選択必修 (体) | | |
| 授業形態 | 実技 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 1 | | |
| 開設学科 | 情報工学科 | 対象学年 | 1 | | |
| 開設期 | 後期 | 週時間数 | 2 | | |
| 教科書/教材 | 「ACTIVE SPORTS」(大修館書店) 「学生の健康科学」(鈴木製本所) / ビデオ教材 | | | | |
| 担当教員 | 伊藤 道郎 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| (ア) チェストパス、バウンズパス、ドリブル、フロントチェンジ、セットシュート、レイアップシュートなどを習得する。 (イ) 習得した技能をゲームで使うことができる。 (ウ) カットイン、スクリーン、速攻について理解し実践できる。 (エ) ゾーンディフェンス、マンツーマンディフェンスについて理解し実践できる。 (オ) バasketボールのルールが理解できる。 (カ) 主審、副審、得点、計時などの役割分担をし、協力してゲームの運営ができる。 (キ) 長い距離を継続してできるだけ速く走ることができる。 (ク) 健康の概念を理解し、生涯を通じた健康づくりの基盤となる考え方を身につける。 (ケ) 青年期のリスクファクターを理解し、安全に生活できる資質を身につける。 | | | | | |
| ルーブリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | | |
| | 数人でグループを作り、決められたグループ内のメンバーで協力して授業を実施できる。 | クラス内のメンバーと協力して授業が実施できる。 | 協力して授業が実施できない。 | | |
| | 長距離走で決められた距離をできるだけ早く走ることができる。 | 長距離走で決められた距離を走ることができる。 | 長距離走で決められた距離を走ることができない。 | | |
| | 生涯にわたる健康と安全について理解し、自分の考えを述べることができる。 | 生涯にわたる健康と安全について理解することができる。 | 生涯にわたる健康と安全について理解することができない。 | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 本校教育目標 ⑤ | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | バスケットボールでは、個人の技能を高めるとともに、チームで協力して練習することによって、集団の技能も高めていくことを目指す。特にゲームにおいては、攻め方や守り方を工夫して、相手チームに対応したプレイができるようにする。長距離走では、長い時間継続して走り続けることにより、全身持久力を高める。保健講義では、生涯にわたる健康と安全について学ぶ。 | | | | |
| 授業の進め方と授業内容・方法 | | | | | |
| 注意点 | ジャージを着用し、体育館シューズを使用する。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | 週 | 授業内容・方法 | 週ごとの到達目標 | | |
| 後期 | 1週 | パス、ドリブル、シュート (基本技能の習得) | パス、ドリブル、シュートを練習する。 | | |
| | 2週 | パス、ドリブル、シュート (基本技能の習得) | パス、ドリブル、シュートができる。 | | |
| | 3週 | 簡易ゲーム (初期段階でのゲーム) | 簡易ゲームを通してバスケットボールのルールが理解できる。 | | |
| | 4週 | フットワーク、フェイント、ピボット (いろいろな動きの習得) | 試合で必要な動きができる。 | | |
| | 5週 | カットイン、スクリーン、速攻 (攻撃方法の工夫と習得) | オフense時に必要な動きができる。 | | |
| | 6週 | ゾーンディフェンス、マンツーマンディフェンス (防御方法の工夫と習得) | ディフェンス戦術が理解できる。 | | |
| | 7週 | ゲーム (相手に応じた攻防の工夫) | フルコートのゲームが実施できる。 | | |
| | 8週 | ゲーム (相手に応じた攻防の工夫) | ゲームでパス、ドリブル、シュートを実践ができる。 | | |
| | 9週 | ゲーム (相手に応じた攻防の工夫) | ゲームでオフense時に必要な動きが実践できる。 | | |
| | 10週 | ゲーム (相手に応じた攻防の工夫) | オフense戦術を理解して実践ができる。 | | |
| | 11週 | ゲーム (相手に応じた攻防の工夫) | ディフェンス戦術を理解して実践できる。 | | |
| | 12週 | ゲーム (相手に応じた攻防の工夫) | チームで協力してゲームすることができる。 | | |
| | 13週 | 長距離走 (男子5000m、女子3000mタイムトライアル) | 決められた距離を走ることができる。 | | |
| | 14週 | 生活と健康について (保健) | 健康の概念を理解することができる。 | | |
| | 15週 | 生活と安全について (保健) | 救命法や熱中症対策について理解することができる。 | | |
| | 16週 | | | | |
| 評価割合 | | | | | |
| | 耐寒マラソン | 実技課題 | 保健 | 合計 | |
| 総合評価割合 | 20 | 60 | 20 | 100 | |
| 基礎的能力 | 20 | 60 | 20 | 100 | |